

# 総務育成委員会 基本方針

委員長 鹿野 渉

今日、私達がJC運動を行うことができるのも、設立時の思いそのままに大志と情熱を持って活動してこられた先輩諸兄が連綿とその志を引継ぎ、たすきを繋いでこられからです。私達はその繋いできた志を途切れることなく次世代へ継承していくためにも、「明るい豊かな社会」を実現していこうとする同じ理想と責任感を持つ仲間を一人でも多く増やす必要があります、いま吹く風を読み、その時代背景に沿った人財育成や組織づくりをLOM全体で行う必要があります。

まずは、絆を育む心豊かな地域を創造するために、規模の拡大よりも人づくりという質を意識した、委員会の垣根を越えた全員参加型の会員拡大を行います。さらに、メンバー一人ひとりが変革の能動者として青年会議所活動の意義や目的をしっかりと把握し周囲に発信、伝播していけるようOB交流会を開催、更なる資質向上に繋がります。また、青年会議所の大きな魅力は、グローバルに展開される組織であり、自己啓発や社会的見聞を広げるという意味でも、とても優れた場所と言えます。社会人になってから生まれる固い絆と友情を持った同世代の仲間が出来るということも青年会議所の大きな魅力の一つです。そういった固い絆と友情を持った同世代の仲間が、ひとつの輪となり助け合いの精神が持てる人財育成を図り、これらを基にして組織づくりを推進していきます。

本年度、総務育成委員会は「相合扶助」を念頭に、各委員会と連携を図りながらメンバー全員に会員拡大に対する当事者意識を育み、さらに、個人の資質に頼らない会員拡大の仕組みと継続参加の仕組みを確立していきます。今年度の活動を通しメンバー全員が会議所活動への意識が変わり、個の成長、組織の成長が実感できる委員会運営をいたします。

## <事業計画>

- 1、目的意識を持った会員拡大
- 2、継続参加の仕組みづくり
- 3、1月通常総会の開催
- 4、広報誌の作成（1月、9月）
- 5、会員の親睦を深める5月例会の開催
- 6、OBと絆を深めるための7月例会の開催
- 7、家族に感謝を伝える12月例会の開催
- 8、理事会議事録の作成